

あうんだより

デイサービスセンターあうん広報 / 令和6年11月

相談員 杉澤 琴美

とうとう雪の季節となりました。日没が早く日増しに寒くなるこの時期ですが、せめてあうんにいる間は元気に明るく過ごしていただきたいと思います。さて今号では、イベントで駆け抜けた10月の活動を振り返っていきます！

あうんハロウィン2024!!



あうんはハロウィン歴12年！！10月は1か月通して全力でハロウィンを盛り上げていきます！

月初め、あうんの随所をハロウィン仕様に飾りつけていきます。室内はタペストリーや垂れ幕でポップでありながらもアダルトチックな装飾に。玄関には、見たら思わず笑ってしまう可愛い表情を描いたハロウィンかぼちゃを4つ置きました。

1週間前からハロウィンの由来や風習をご紹介するポスターを設置して話題を仕掛けながら、じわりじわりと周知。そして4日前にはかぼちゃのランタン作りの実演を行いました。観賞用かぼちゃに馴染みがなくて「切り分けて食べるの？」と話していた利用者さんも、ろうそくを灯すとムードーな雰囲気に納得です。

そして迎えた当日。まずはかぼちゃランタン顔の風船バレーで元気いっばいに始まります。

昼食は恒例のハロウィンカレー。茄子のダークな紫色と、畑で育てた二十日大根の赤、同じく畑で育てたピーツの赤が彩りを添えます。

そして3時、行事のメインイベントへ。そろりそろりと階段から降りてきたのは…皆さんお待ちかね！？ハロウィンマンです！！今年は半分ガイコツ顔！！

利用者さんもマントや三角帽子で仮装して記念撮影。ハロウィンマンの横に並ぶと、皆さんの優しいお顔がなおさら穏やかに優しく見えてきます。

更に登場したのは嬉しいお客さん！学童保育どろんこハウスから、小学校1～4年生の可愛い子どもたちが遊びに来てくれました。「お菓子をくれなきゃいたずらするぞ！」と元気に掛け声をかけて盛り上げてくれて、利用者さんたち、とっても嬉しそう。笑顔満面です。あうんも今まで感じたことがないと思えるほど華やかになりました。握手して子どもたちのパワーをたくさん頂きましたね。

子どもたちを見送ったあと、あうんはティータイム。お茶のお供は手作りカボチャマフィンです。ホラーなお顔のハロウィンマンが可愛いマフィンを配ります。

皆さんで美味しくいただいて、最後にイチゴ味の飴を賭けてビンゴゲーム。こうして賑やかに、1か月の集大成を迎えたのでした。



大豆の収穫

今年、あうん畑の1/3は大豆を栽培していました。枝豆として収穫することもできたのですが断腸の思いで我慢。我々には大きな目的がありました。それは100%あうん産の味噌を作ること！！

実がカラカラに乾いたタイミングで収穫。いざ脱穀！と行きたいところなのですが、脱穀する術をもたない私たち。色々考えた結果、ホールに大きくブルーシートを広げて手作業で豆をさやから取り出すことに。

「もっといい方法があるはずだけど」「瓶で叩けばいいんだよ」と、利用者さんからもご意見いただいたのですが、もはや乗りかけた船なのです。

スタッフの目論見としては、1時間弱で終わる軽い作業のつもりでした。ところが、剥いても剥いても減らない豆の山。結局1時間半かけて全てのさやから豆を取り出しました。あうんで歴代1位の長い作業時間でした。

広げて乾燥させておき、計測したところなんと4.1kg！！大収穫でしたね。皆さん本当にお疲れさまでした！来年1月の大寒に味噌仕込みして、来年末の頃には味噌汁という形で今日の作業の恩恵が表れてくるはずですよ。先が長い！



こぼれ話

昨今、職を求める人たちの中で介護職というのは本当に人気がないです。なぜ人気がない？と考え始めると暗い気分になるばかりなのですが、あうんのひとつの見解として、我々は自信を持って言うことができます。

「介護職は、『楽しい』を作り出せる職業である！」と。行事を企画する、実践する、利用者さんが喜んでくださる。それを見て私たちも嬉しい。すべての行程に関わられて結果をすぐ近くで実感できる職業、そうそうないと思うのです。

『楽しい』は生きていくための活力です。利用者さんと我々スタッフ共通の必須栄養素なのですよね。